

いて

- 米山公園の管理について

【消防費】

- 女性の登用の整備が遅れていること・休日勤務について
- 詰所の作り替えを行う時に、部の編成も考慮しているか
- 防災行政無線事業の修繕料と委託料について

- 安中市の消防員の充足率・企業に対する協力依頼について

【教育費】

- 臨海学校閉校理由と代替事業について
- 松井田城跡保存活用基金が運用されていない点について
- 不登校の児童生徒数・ケア方法について
- 廃校維持管理事業の対象数・委託内容・委託先について
- 野球場防球ネット設置工事以外の工事請負費の内訳・今後について
- 図書館の貸し出しVHSとDVDの比率について
- 松井田城跡保存活用基金積立金を利用して視察見学会等の企画を要望してきたかどうか

- 被災幼児児童生徒就学支援事業が決算書に記載されていない理由について

- いじめ防止対策推進事業の内容について
- 久芳ゲートボール場の利用者について
- 武家屋敷の屋根の葺き替えは二十七年度では行っていないのか

【公債費】

- 市債残高・これからの地方債の発行について

一般会計歳入

- 個人市民税・法人市民税の増収の要因について
- 地方譲与税の特徴について
- 個人・法人市民税、固定資産税、都市計画税の滞納者数・高収入滞納者・差押えについて
- 学校給食無料化の意義、所得制限、市外通学者とのバランスについて
- 地方交付税減額の要因について
- 財政調整基金繰入金減額の要因について
- 市債減額の要因・合併特例債の借入について

一般会計反対討論

安倍政権の景気浮揚策アベノミクスの成果は大企業と資産家には恩恵があったものの、一般市民の収入には全くありません。むしろ勤労者の実質賃金は五年余も下がり続けています。消費税率引き上げから二年経過した今でも、国民の可処分所得が増えず、その結果がGDPの落ち込みに端的に示されています。

それを反映して個人市民税は、千四百九万円、前年比〇・五%と微増に留まる一方で、企業の実績は伸びを見せ、法人市民税は、二億二千八百八十二万円、前年より九・九%と増収となり、国の法人税減税をはじめ各種優遇税制が表れています。

もっとも特徴的なのは、地方消費税交付金六九・七%増、株式等譲渡所得割交付金三四%増、などという数字に、消費税率引き上げと資産家の株取引など、国の施策の反映がはつきり表れている決算です。

一般会計賛成討論

平成二十七年一般会計の歳入では、地方消費税交付金の増収があったが、地方交付税等は減収となり、歳出では行政需要の増加を受け、財政調整基金を取崩したが、残高を維持し、実収支額も黒字決算となり評価できる。主な事業の成果としては、人口ビジョンと総合戦略を策定し、今後の方向性を定めている。また、「障害者支援センターまついだ」新設による障害者福祉の充実、学童クラブ建設や乳幼児二次健診事業等子育て支援にも力を入れている。峠の湯の再建は、観光・地域振興につながる期待される。更に教育施設の耐震化事業の完了は、安全安心の確保の観点から、評価できる。

しかし、法人市民税率引下げ、普通交付税の合併算定替えの段階的縮減により、財政状況が一段と厳しくなるなど課題もあげられる。今後は、更なる自主財源の確保と事務事業の見直しにより、行財政改革にまい進するよう要望します。